8月号
ほけんだより

令和５年８月　病児・病後児保育室「いよっこすまいる」

　プール遊びや虫とりなど、たくさん体を動かして、元気いっぱい夏を満喫していますか？子どもは猛暑の中、遊びに夢中になり体調を崩すこともあります。水分補給や休息など十分気を付けたいですね。
　モリモリ食べて、体調に気を付け楽しい夏にしましょう。

こんな病気に注意！
◆RS ウイルス　ヘルパンギーナ
新型コロナウイルス感染症
インフルエンザ　　など

伝染性膿痂疹（とびひ）

　とびひは、虫刺されやアトピー性皮膚炎などで傷ついた肌に細菌が感染して発症します。なかでも、高温多湿を好む細菌なので、夏場になると流行しやすくなります。
　虫刺されは早めに対処したり、こまめに肌のケアをしたりしましょう。
　また、肌を傷つけないように爪切りをしましょう。

車内に注意！！

　旅行やレジャーに出かける機会の多いこの時期、毎年必ずと言ってよいほど起こる車内での熱中症！
　エアコンをつけているからと油断してはいけません。涼しくした車内でも熱中症になります。『**ちょっとだけ**』という気持ちを捨て、車内に子どもを残さないようにしましょう。

また、長時間乗車する際には、こまめな水分補給と、休息をとりましょう。たのしいお出かけとなるように気を付けたいですね。

咽頭結膜熱（プール熱）

症状
38℃以上の高熱　のどの腫れと痛み　目の充血や瞼の裏の痛み

予防方法
　目やにや便、くしゃみや咳などにウイルスが含まれていて、それらに触れるとうつります。感染力が強いのでこまめな消毒を！タオルなど顔に触れるものの共有は控えましょう。

症状がひどいくなると…

流行性角結膜炎（はやり目）

　どちらも、感染力がとっても強い病気です。集団生活では、特に早めの受診や処置をお勧めします。つらい症状を早く和らげてあげたいですね。